

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	国際臨床工学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員	加藤 智久	実務経験と その関連資格	岐阜県白川病院に臨床工学技士として勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
異文化にふれると共に医療の現状、技術について調査し、今後の臨床工学技士のあるべき姿について学習する						
《成績評価の方法と基準》						
プレゼンテーションの作成などを総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
グローバルな視野を持ち、現在の医療の現状などに興味をもち調査を自主的に行う						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	交流プレゼンテーションを作成できる	配布資料		
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、交流プレゼンテーション作成			
第2回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	発表内容の決定をし、プレゼンテーション資料の作成ができる	作成プレゼン テーション資料		
		各コマに おける 授業予定	交流プレゼンテーション作成 グループワーク ①			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	発表内容の決定をし、プレゼンテーション資料の作成ができる	作成プレゼン テーション資料		
		各コマに おける 授業予定	交流プレゼンテーション作成 グループワーク ②			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	発表内容の決定をし、プレゼンテーション資料の作成ができる	作成プレゼン テーション資料		
		各コマに おける 授業予定	交流プレゼンテーション作成 グループワーク ③			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	現地での受講した内容を理解し説明できる	作成プレゼン テーション資料		
		各コマに おける 授業予定	現地にて講義受講・プレゼンテーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの臨床工学技士の歴史が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	Clinical Engineering in USA ①		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの臨床工学技士の歴史が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	Clinical Engineering in USA ②		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸療法の歴史が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	History Of Respiratory Care Profession ①		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸療法の歴史が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	History Of Respiratory Care Profession ②		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腎不全の病態が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	Kidney Disease		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	人体の構造が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	施設見学(解剖見学)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	高圧酸素療法が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	施設見学(高圧酸素療法室)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腎不全治療が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	施設見学(透析センター)		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸療法で使用する機器が理解できる	配布資料	
		各コマにおける授業予定	施設見学(トレーニングセンター)		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外研修の内容を纏めて発表し、他のグループの内容を共有できる		
		各コマにおける授業予定	まとめ		